

# プレカット加工が再び増加へ

## 坂東工場に特殊加工機導入

ポラテック

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）の10月度のプレカット事業は、構造物加工が11万4847坪（前年同月比1・7%増）と好調で、北大路康信専務は「10月度は仕事が盛り返した。年末に向かいピークを迎えそう」と話している。非住宅率は8631・7坪（同27・8%減）、受注比率は7・5%にとどまるが、今期のピークとの見方だ。坂東工場に特殊加工機を設置し、非住宅物件の対応力を向上させる。

同社はプレカット最 譲に加え、注文住宅系大手で、月間17万5000坪の構造材加工能力を持つ。10月度はビルダーなどの戸建て分

10月度の羽柄材プレカットは7万9413坪（同7・2%増）、合板加工も6万2756坪（同3・2%増）と前年を上回った。今



富士工場で建設中の工場事務所。STTシステムを使って大スパンを飛ばす

坂東工場には平安工機4基（宮川工機、平安コーポレーション各2基）を導入した。それ以前に導入した内外工業の加工機もあり、加工実績が大きく伸びたものと見られる。

2×4工法の資材の値上がりや木造軸組工法へのシフトもあり、11月度構造材プレカットは12万坪を超えてくるものと予想する。坂東工場には平安コーポレーションの5軸特殊加工機を導入し、幅600×厚さ180ミ、長さ10以上の材の加工ができるようになる。特殊加工機を増設することで非住宅分野を強化。モデルともなる富士工場の事務所棟を建設中で、STTシステム、幅狭耐力壁のバルテノンなどオリジナル構造材を採用している。東北、富士、佐賀工場に5軸加工機はあるが長さは8メートルの対応だった。非住宅物件の加工体制を強化しており、非住宅営業部は15人体制で各支店に配置。設計士などへの対応を強めている。